

News Release

2018 年 11 月 30 日 株式会社アスコエパートナーズ

ユニバーサルメニューとエストニア向けサービスカタログとの データ連携に向けた、共同開発事業の発表について ~「エストニア版ユニバーサルメニュー」の構築~

株式会社アスコエパートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:安井 秀行 以下、アスコエ)は、エストニアの「X-Road」とのデータ連携に向けた DB(データベース)フレームワークとして今後利用してもらうことを目標した UMDB 構造改良開発事業を、エストニア経済通信省とタリン工科大学と共同で行うことで協定を締結いたしました。

また同取り組みに合わせて、2018年11月よりエストニア経済通信省とタリン工科大学が、当社も所属する一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会の正式なメンバーとして参画することになりました。

あわせて、弊社がエストニア経済通信省ならびにタリン工科大学と共同で行っている、ユニバーサルメニューと欧州サービスカタログとのデータ連携に向けた共同開発事業が、2018 年 11 月 29 日にベルギーの ブリュッセル で 開 催 された 欧州 連合による「 ISA2 Interoperability solutions for public administrations, businesses and citizens 進捗会議」にて、エストニア国 CDO・Janek Rozov 氏により発表されました。

Janek Rozov 氏の発表の様子はこちら:

https://www.youtube.com/watch?v=LrQ0dY6Hg88&feature=youtu.be



ISA² Mid-Term Conference - Janek Rozov

News Release





【共同研究事業の背景および内容】

電子政府国家エストニアは国家政策として、e-Residency や、未実施とはなったものの世界的に話題となった Est-Coin の発行など、他国事例のないプロジェクトを次々に手掛けている先端デジタル国家である。元々自国民へのサービス向上から始まった e-Estonia 政策が成功し、国際的な地位の向上や、GDP 向上を目指した経済政策に転換されている。日本国も、平成 30 年 6 月 15 日に、世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画が閣議決定され、さらに令和元年 5 月 24 日、デジタルファースト法案が成立した。こうした国内におけるデジタルガバメント動向の中、エストニアのガバメント IT プラットフォーム「X-Road」の設計思想や仕組みに対する注目が高まっている。

一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会および株式会社アスコエパートナーズは、こうした日本国の取り組みに先立ち、平成 30 年 2 月より、エストニア国タリン工科大学ソフトウェアサイエンス学部 SocioTechnicalLab (ラボ長: Taveter Kuldar 教授)と、共同研究開発「Co-Development of Proactive Public Service as a Digital Government system」に着手してきました。行政サービス・データベース 「ユニバーサルメニュー®」をベースとして、エストニアの Childcare Plan 制度を同一データベース化し、行政サービス情報データの国際的な共通語彙化やデータ形式の統一開発を共同で行い、SocioTechnicalLab が開発している Proactive A.I.との統合を目指すものです。

本リリースに関する問い合わせ先

株式会社アスコエパートナーズ ワールド推進室:北野 広報:金(キム)

TEL: 03-6452-8724 Email: pr@asukoe.org